



東北大震災御祭り
今村文彦教授

被災地は、治癒の手を貸すために、多くの活動が行われた。一方で、震災の記録として残るため、多くの記録が作成された。しかし、その多くは、現地での活動や、被災者の状況についてのものであり、震災の歴史的意義や、被災者の心象を伝えるものではなかった。そこで、被災者の心象を伝えるために、東北大震災御祭りの開催が決まり、今村文彦教授が主催して、多くの活動が行われた。

望むこと



活動と住民つなぐ役割

河北新報は、東日本大震災の津波による被災地の取り組みなどを紹介してきた「地震防災のページ」。このページでは、被災地の取り組みや、被災者の心象を伝える活動などが紹介されている。

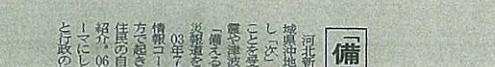
啓発紙面反省と今後

河北新報は、東日本大震災の津波による被災地の取り組みなどを紹介してきた「地震防災のページ」。このページでは、被災地の取り組みや、被災者の心象を伝える活動などが紹介されている。

武田真一

防災報道の改善必要 本社検証アンケートから

取材力維持し発信継続



備える報道

理由の自由回答

地震防災報道に関する読者アンケートでは、震災前の記事が津波避難の役に立った理由、役に立たなかった理由が自由回答によって寄せられ、地域の実情に応じた細やかな報道の必要性が浮き彫りになった。

役に立たなかった

河北新報は、東日本大震災の津波による被災地の取り組みなどを紹介してきた「地震防災のページ」。このページでは、被災地の取り組みや、被災者の心象を伝える活動などが紹介されている。

役に立った

河北新報は、東日本大震災の津波による被災地の取り組みなどを紹介してきた「地震防災のページ」。このページでは、被災地の取り組みや、被災者の心象を伝える活動などが紹介されている。

「狭く深く」の姿勢へ



河北新報は、東日本大震災の津波による被災地の取り組みなどを紹介してきた「地震防災のページ」。このページでは、被災地の取り組みや、被災者の心象を伝える活動などが紹介されている。

痛みを共有 希望描く 震災報道

被災地・気仙沼から

痛みを共有 希望描く

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道

震災報道